

蓄膿症	77.2		●	●	●	●		感染などによって	主に副鼻腔	膿がたまる。頭痛。鼻づまり。	感染などによって鼻や、関節にうみがたまること。一般的には鼻の場合を言い、鼻づまり・頭痛が起こ	
鼻汁過多	68.1											鼻水が多く出ること。
副鼻腔炎	37.7	●	●	●	●				副鼻腔	頭痛。鼻づまり。慢性と急性がある。	鼻の中の粘膜や骨の炎症、はれ。鼻づまり・頭痛がおこる。	
鼻カタル	27.5									鼻	滲出性炎症。粘膜組織の破壊を伴わない。	鼻の粘膜が炎症して粘液の分泌が高まっている状

胃腸薬	理解度(%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年齢	原因	部位	症状(どうなるか)	説明文	
胃アトニー	7.6	●	●		●				胃	胃運動の低下。慢性胃炎の所見が見られる。	胃の運動が極めて低下した状態。多くの場合胃下垂がおこる。	
胃重	51.9										胃が重いこと。	
胃酸過多	87										胃酸が多く出過ぎること。	
胃弱	87.3			●	●						胃の働きが弱まっている状態。	
胃部不快感	60.8									胃	気持ちが悪いこと。	胃のあたりが気持ち悪いこと。
胃部膨満感	51.9									胃	膨れること。	胃がはって気持ちが悪いこと。

嘔吐	98.7	●	●	●	●					胃の内容物	強制的に排出すること	吐くこと。	
おくび	19	●		●	●					胃にたまったガス	排出されること。	胃にたまったガスが口に出たもの。げっぷ。	
くだり腹	65.2			●	●							下痢をしていること。	
さしこみ	48.1			●	●							胃や腹に急におこる痛み	
痙	19			●	●							さしこみ。胃や腹に急におこる痛み	
消化促進	88.6	/											消化を促すこと。
整腸	80.5			●	●							腸の調子を整えること。	
疝痛	17.4	●		●	●	●						刺すような激しい腹痛。	
呑酸	5.8				●							げっぷ。	
はき下し	40.6			●	●							吐いたり下したりすること	
腹部膨満感	69.6	/							腸管内容物、ガス、水分	腹部	膨って不快感を感じること。	腹部がはって気持ちが悪いくこと。	
水あたり	72.5			●	●				生水		下痢	飲み水が原因による下痢	
胸つかえ	72.2	/											痛みで胸がふさがるように苦しいこと。
もたれ	92.2	/											食べ物がいつまでも消化しないで、胃に負担を感じ

目薬	理解度(%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年齢	原因	部位	症状(どうなるか)	説明文
眼瞼炎	36.2	●				●		細菌、アレルギー	まぶた	炎症。かゆみ。赤み。	まぶたの赤み、はれ。

テニス肘	36.2	●	●	●				衝撃力が加わると橈側手根伸筋に力が加わって	上腕骨橈側上顆。ひじから指にかけて。	痛み	テニスなどでよく起こるひじ関節やひじから指にかけての痛み。
手指の角化	26.6								手、指	角質が異常増殖する。角質層が高度に厚く覆った状態。肉眼的には白斑として見える	指や手の皮膚が白く皮が何層にもなったりする状態。皮膚がポロボロとはがれやすい。
リウマチ	81		●					自己免疫疾患	運動器、関節、筋肉	痛み	特に関節、筋肉、骨などが痛んだりはれたりする原因不明の病気。
ロイマチス	5.2	●						自己免疫疾患	運動器、関節、筋肉	痛み	特に関節、筋肉、骨などが痛んだりはれたりする原因不明の病気。リウマチ。

皮膚用薬	理解度 (%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年齢	原因	部位	症状(どうなるか)	説明文
あかぎれ	89.9	●	●		●			寒さなど	皮膚。特に手足	切れ目。	寒さによって皮膚がさけていたむもの。
乾皮症	35.4	●		●				皮脂および汗の分泌が減退し	皮膚。	乾燥	皮脂および汗の分泌が減って皮膚が乾燥した状態。
おむつかぶれ	93.7	●	●	●					おむつの当たる部位	かぶれ、ただれ	おむつの当たる部位のかぶれ・ただれ。
外陰部癢痒症	36.2	●							生殖器の外の部分	かゆみ	生殖器の外の部分のかゆみ。

かき傷	68.8					●							爪などでひっかいた傷
角化症	29	/							角質増殖あるいは蓄積をきたし	皮膚表皮	肉眼的に角質肥厚や鱗屑を主徴とする。たこ、いぼ、うおのめ。	皮膚の角質が増殖して硬くなったり、かさつきを伴う。たこ、いぼ、うおのめなど。	
化膿症	65.8		●	●					化膿菌感染		黄色の膿を伴う	細菌の感染による、黄色くじゅくじゅくしたうみ・炎症・はれ。	
化膿性創傷	46.8	/							化膿菌感染	傷口	黄色の膿を伴う	傷口が黄色くうみをもつこと。	
化膿性皮膚炎	65.2	/							化膿菌感染	皮膚	黄色の膿を伴う	じゅくじゅくした黄色いうみをもったしっしん・かぶれ。	
化膿性皮膚疾患	36.7	/							化膿菌感染	皮膚	黄色の膿を伴う	じゅくじゅくした黄色いうみをもったしっしん・かぶれ。	
貨幣状湿疹	11.7	●	●							皮膚。下腿や上肢の伸側、腰に好発する	ほぼ貨幣大、類円形の湿疹病巣をいう	硬貨ぐらいの大きさの湿疹・できもの。	
急性・慢性湿疹	58.4									皮膚		急に起こる・長引くしっしん。かぶれ。	
くさ	11.4			●	●							できもの。きずあとにできるもの。かさ。	
口唇き裂	49.3	/							男児に多い。先天的異常症でもっともおおい。	上唇	切れ目。	唇に生じる切れ目。男児に多く、生まれつきの場合が多い。	
口唇乾燥症	53.6	/								くちびる	乾燥する。	くちびるの乾燥。	
肛門癢痒症	22.8	/								肛門	かゆい	こうもんのかゆみ。	

固定蕁麻疹	8.9	●	●				虫刺されなど。カ、ブヨ	皮膚	蕁麻疹様紅斑を生ずるが掻破を加えているうちに丘疹状になる	虫にさされたあとできもが残るかゆみを伴う。	
さかむけ	71.4			●	●		荒れ	爪ぎわの皮膚	逆さにむけること。ささくれ。	ささくれ。爪ぎわの皮膚が逆さにむけること。	
刺傷	89.9	●		●	●					とがったもので刺した傷	
酒さ	1.3	●	●		●		酒客に多い中年者	血管神経障害、内分泌異常、消化器障害、精神的因子などが原因	顔とくに鼻尖	発赤、発疹をきたす	顔とくに鼻が赤くはれたり、にきびができること。中年の人に多
擦過傷	49.4	●	●	●	●		皮膚の表面に直接的に作用し	皮膚	表皮を剥離し真皮を露出した傷	表皮がはがれた、深い傷。	
さめ肌	80.5			●	●				皮膚		サメのようにざらざらした人の肌。
秕糠疹	0	●			●				皮膚	秕糠様の微細な鱗屑、落屑を主徴	皮膚の表面がかさついたり、ぼろぼろ細かいはがれた状態。
痔疾	60.8				●				肛門及びその近接部分	痔瘻・痔核・肛門裂傷・脱肛などを含む	肛門の周りの病気。
湿疹	92.2	●	●	●	●				表皮	炎症。発赤・腫脹・灼熱感・痒みをともなう。	皮膚の表面のはれ・かゆみ・赤みなど炎症のこと。
食餌性湿疹	15.6										
脂漏性湿疹	30.4	●	●				马拉セチア菌という一種のカビ	有髪頭部、耳介とその周囲、外耳道、顔面、腋窩、正中線部、臍窩、外陰部	しっしん	頭・顔・耳の周りなど、脂が多くでる部分にできるしっしん。	

脂漏性皮膚炎	20.3			●		●						頭・顔・耳の周りなど、脂が多くでる部分にできるしっしん。	
神経性皮膚炎	68.1	/											ストレスによりおこる湿疹・皮膚炎。
尋常性瘰癧	6.3	●						思春期				脂腺性毛包が侵される。毛孔に一致した慢性炎症性変化を示すもの。	にきび。思春期によくでき、背中、胸にみられる。
蕁麻疹	40.5	●	●	●	●	●				真皮上層	浮腫、膨疹、発斑	多くは一過性で一日程度で消える。かゆみ・はれのあるしっしん。	
癬	13	●	●	●	●				黄色ブドウ球菌	毛包	壊死性変化の強い化膿性炎症を生じたもの	毛穴や皮脂腺から細菌が入り毛根を取り囲む部分(毛包)にできものができ	
接触性皮膚炎	47.8	●	●						接触する外界物質の機械的刺激、化学的刺激あるいはその物質に対するアレルギー反応の結果	皮膚	炎症	俗にかぶれといわれる。接触による刺激やアレルギーによって起こる。	
創傷	39.1	●	●	●	●				外力によって生じた			組織の損傷	きず。
そこまめ	9.1			●	●						足の裏	まめ	足の裏にできるまめのような水ぶくれ。

疔	2.9			●	●			ブドウ球菌	皮膚の深部及び皮下結合組織中	激痛を感じ膿を生ずる	皮膚の深い所に細菌が入り込んで起こすはれ。強い痛みを感じ	
伝染性皮膚炎	63.8	/										
とびひ	67.5	●	●	●	●	●	小児	化膿菌	皮膚	浅在性皮膚感染症。じゅくじゅくした病変。	細菌による感染性の皮膚炎。じゅくじゅくしたうみもち、小児によくできる。	
日光皮膚炎	57	●	●					大量の日光	皮膚	炎症	日やけ	
膿痂疹	6.3	●	●			●	小児	化膿菌	皮膚	浅在性皮膚感染症。じゅくじゅくした病変。	いわゆるとびひ。細菌による感染性の皮膚炎。じゅくじゅくしたうみもち、小児によくできる。	
はたけ	55.8			●	●		小児		顔。ほおやあごの皮膚。	小指の爪大に白く、色素が抜けたようになる	ほおやあごの皮膚が白いはんてんのようになると。小児によくできる。	
癩	7.6	●		●		●	高齢者や糖尿病の人	化膿菌	項(うなじ)・背・顔	せつが集合したもの。	せつが集合したもの。うなじ・背・顔などによくできる。	
ピダール氏苔癬	5.2	●					中年女子	掻いたり衣服の摩擦	項部(首の後ろの部分)	暗赤色の小丘疹が集簇し板状の局面を形成してくる	首の後ろの部分に激しくかゆみかいてくるうちに赤く板状にはれる。中年の女性に多い。	

面ちょう	30.4	●	●	●	●			黄色ブドウ球菌	口の周囲、鼻、前額部	発赤、硬結、疼痛が著明で毛包に一致し膿栓	毛穴や皮脂腺から細菌が入り毛根を取り囲む部分(毛包)にできないものができる。とくに口の周り・鼻・額にできる。	
毛嚢炎	5.1		●					黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌	毛包	炎症	毛根を取り囲む毛包が細菌により炎症を起こすこと。	
薬物性皮膚炎	58											薬物による湿疹・皮膚炎
皮膚潰瘍	35.4											
皮膚掻痒症	27.8	●	●						皮膚	痒い	特別できないのに皮膚がかゆいこと。	
皮膚の炎症	86.1											皮膚のはれ・痛み。

歯科口腔用薬	理解度(%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年齢	原因	部位	症状(どうなるか)	説明文
咽頭炎	71	●	●	●				ウイルスや細菌の感染	口峽、咽頭の粘膜およびこの部のリンパ組織	炎症	のどの粘膜のはれ・痛み。
口のねばり	89.9										口の中がねばつくこと。
歯垢の沈着	71.4							細菌とその代謝物	歯の表面	付着する。	歯の表面につく細菌がつくる歯のかす。歯の表面の汚れ。

歯槽膿漏	79.2	●	●	●	●		歯石の刺激、細菌の侵入、咬合不正	歯の周囲組織	慢性の炎症。歯肉からの排膿、歯槽骨の吸収、歯の弛緩動揺。歯肉が赤くはれ、うみが出て出血しやすい	歯のまわりの慢性の炎症。はぐきが赤くはれ、うみが出たりする。
歯肉炎	88.4	●			●			歯肉	炎症	はぐきのはれ・痛み。
腫脹	15.6	●	●	●	●	●				はれ。
智歯周囲炎	13	●						智歯周囲組織	急性または慢性の炎症をいう	親知らずの周りのはれ・痛み。
歯ぐきからのうみ	82.6									歯ぐきからのうみ
歯ぐきのむずがゆさ	58.2									はぐきがむずむずとかゆいこと。
歯齦炎	29	●			●			歯肉	炎症	はぐきのはれ・痛み。歯肉炎。
発赤	32.5	●		●	●		毛細血管の一時的な拡張と充血	皮膚粘膜	赤色の色調の変化	皮膚が赤くなること。
浮歯	42.9									歯が浮く感
扁桃腺炎	79.7							口蓋扁桃	炎症	のどの奥にある卵型のリンパ組織のはれ・痛み。

眠気防止薬	理解度(%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年齢	原因	部位	症状(どうなるか)	説明文
驚風	2.9				●		小児			脳膜炎および脳膜炎様の症状	ひきつけ。
小児五疳	0						小児				

小児虫気	11.4						小児	回虫または消化不良などのため		体質が虚弱となり不眠・痲癩などを伴う病症	小児の体質が虚弱になった時におこる不眠や夜泣きのこと。
除去	72.5			●	●						取り除くこと。

鎮静薬	理解度 (%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年齢	原因	部位	症状(どうなるか)	説明文	
意欲減退	82.6											意欲のおとろえ。積極的に何かしようと 思う気持ちのおとろえ。
興奮感	62.3											激しくて抑えられないこと。
小児疳症	11.4						小児					小児の夜泣 や悪夢を見たり ひきつけをおこすこと。
吐乳	50.6	●	●	●	●		乳児					乳児が母乳を吐くこと。
めざめ易い	46.8											目が覚めやすい。

発毛・養毛薬	理解度 (%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年齢	原因	部位	症状(どうなるか)	説明文	
薄毛	92.4											毛が薄いこと。
円形脱毛症	87	●	●	●	●	●		自律神経障害、ストレス、自己免疫疾	頭部	円形に脱毛斑あが できる	頭髪に多くあら われる円形の 脱毛症。	
壮年性脱毛症	55.7							働き盛りの年頃。おもに40代から50代。		頭部	正常に存在していない毛が 欠如しているか、脱落して 疎または消失している状態	働き盛りの年頃(40代から 50代)の抜け毛。はげ。

口唇炎	72.5		●		●			局所的原因によりまた全身性疾患の部分症状	口唇		くちびるのはれ・痛み。	
更年期障害	89.9	●	●	●	●	●	更年期の女性	エストロゲンの分泌が急激に減少		ホットフラッシュ、冷え、めまい、頭痛、うつ的な気分的な症	更年期の女性に起こる健康上の障害。のぼせ・不眠・頭痛な	
五十肩	89.6	●	●	●	●		50歳ごろから		肩・関節	痛み。疼痛と関節拘縮。	50歳ごろから起こり、肩の痛みや関節が固まって動きが悪くなること。	
酸性体質	26											
産前産後	87											出産の前とあと。
舌炎	48.1	●		●	●			熱刺激、化学的刺激、外傷	舌	はれ・赤み・痛み	舌のはれ・痛み。	
腺病質	16.9			●	●		小児				小児の病気にかかりやすく神経質な体質。	
神経性難聴	63.8	●									聴神経の病気。耳の間こえの低下。	
唾液腺機能の低下	50.6										だ液の量の低下。	
妊娠授乳期	74.7											妊娠・授乳の間。授乳期は約1年間。
発育期	88.4											成長期。
発育不良児	81.2											発育が良くない子供。
発熱性消耗性疾患	20.3											
鼻出血	89.9	●	●								鼻血。	
病中病後	83.1											病気の間と治ったあと・やみあがり。

偏食児	66.2										好き嫌いが多く、偏った食事の取り方を する子供。栄養/バランスの 取れていない 子供。
骨齒の發育 促進	65.2									骨・齒の成長 をうながすこ と。	
末梢血行障 害	45.5								末梢の血管。 手先・足先	血のめぐりが 悪くなること。	手先・足先へ の血のめぐり が悪くなるこ と。冷え性や 肩こりを引き 起こすことが ある。
指掌角皮症	7.6								指・手のひら		手荒れ
老人性白内 障	83.1	●					50～55歳頃 から	原因はない		視力障害	50～55歳頃 からほかに原 因なく発症す る白内障をい う。目が見え にくくなる。

女性用保健 薬	理解度(%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年 齢	原因	部位	症状(どうなる か)	説明文
下腹腰足引 つり痛み	22.8										下腹・腰・足 の引きつる痛 み。
下腹腰痛	59.7										下腹・腰の痛 み。
血圧異常	85.7										血圧が正常 でないこと。
月経過少	82.6										月経時の出 血が異常に 少ないこと。
月経過多	76.8										月経時の出 血が異常に 多いこと。

こしけ	13.9				●	●					女性性器官から出る血液以外の分泌物の総称。	おりもの。特に多くなり不快感を感じるようになったものをいう。	
帯下	23.2	●	●			●					女性生殖器からの分泌物。不快感を感じる程度に増えたもの。	おりもの。特に多くなり不快感を感じるようになったものをいう。	
嗜眠	5.2	●	●	●	●				薬物中毒、脳腫瘍、代謝障害などさまざまな疾患		意識障害の程度であり睡眠を持続している状態。	病的な睡眠状態。進むと昏睡状態となる。	
血の道症	31.9	/											子宮関係の病気。女性の月経時・更年期・妊娠期にみられる症状。のぼせ・めまい・頭痛
トリコモナス性皮膚炎	30.4	/							原虫の一属である臈トリコモナスの寄生。性行為感染症。		帯下が増えたり、外陰部のかゆみなどがある	性行為感染症の一つ。おりものが増えたり性器の周りのかゆみなどがある。	
ひきかぜ	38				●							かぜをひくこと。	
婦人諸病	34.2	/						成年以上の女性。					成人女性のさまざまな病気。

漢方薬・生薬製剤	理解度(%)	医学大辞典	看護辞典	日本語大辞典	広辞苑	Yahoo	特徴的な年齢	原因	部位	症状(どうなるか)	説明文
胃腸炎	92.4	●								急性に腹痛、嘔吐、下痢がおこる	急におこる腹痛・はきけ・下痢など。

胃腸カタル	31.6	/							胃と腸	滲出性炎症。粘膜組織の破壊を伴わない。	胃と腸が炎症して粘液の分泌が高まっている状態。
胃腸虚弱	73.4	/							胃と腸	よわる	胃と腸が弱っている状態。
咽喉炎	60.8	/							喉頭から喉頭気管口により気管につながる「ろうと状」の器官。	炎症	のどのはれ・痛み。
咽喉頭の違和感	49.3							咽喉と咽喉	違和感	のどの違和感。	
咽喉不快	52.2	/							咽喉と咽喉	不快	のどの不快。
腕神経痛	46.4	/							腕の神経の走行に沿って	疼痛発作	腕の神経にそってずきずきとうずくような痛みが起こる。
肩関節周囲炎	49.3	●						肩関節周辺	炎症	いわゆる五十肩。50歳ごろから起り、肩の痛みや関節が固まって動きが悪くなること。	
緩解	6.3	●		●	●			重篤な症状	一時的に好転すること。	病気そのものは完全に治っていないが、一時的に症状がよくなり治ったかのようによくなるこ	
関節炎	94.9	●	●	●	●			化膿性・リウマチ性・淋菌性・結核性	関節	炎症。腫れ・痛み・運動障害。	関節のはれ・痛み。
関節リウマチ	78.3		●	●	●	●	男女比は1:4、好発特徴的な年齢は30~50歳	原因不明	関節炎はすべての滑膜関節	痛み	30~50歳の女性に多く、関節が痛んだり、はれたりする原因不明の病気。

顔面紅潮	79.2					●						顔が赤くなること。	
気管支喘息	85.7	●	●	●	●	●		各種刺激に対して反応が亢進 ハウスダスト・ダニ・アレルギーなど	気管・気管支	気道の狭窄を伴い、反復性の呼吸困難、喘鳴などの症状を示す		気管が狭くなることによつて、せきが出たり、急に息が苦しくなったりする症状を繰り返すこと。多くはハウスダスト・ダニ・花粉などの刺激によつて起こる。	
急性皮膚疾患	36.7	/								皮膚			
去痰	15.6			●								たんを取り除くこと。出すこと。	
筋肉のけいれん	92.8								筋肉	発作性の収縮		筋肉が発作的に震えること。ひきつり。	
下肢痛	33.3	●						さまざま	大腿・下腿・足の総称。脚部。足。	痛み		太もも・脚部・足の痛み。	
月経困難	68.1	●										月経によつて下腹部の痛みや腰痛などがおこり日常生活に支障をきたすもの。	
月経不順	92.8					●						月経が不規則なこと。	
血色不良	87	/								顔色	よくないこと	顔色がよくないこと。	
後頭神経痛	44.9	●							大後頭神経、小後頭神経の領域	後頭部を中心に項部や側頭部にも及ぶ鋭い痛み。発作性の疼痛。		急に起こる頭の後ろの部分を中心とした鈍い痛み。	

更年期神経症	75.4	更年期					神経	疼痛発作	更年期時(40~55歳ごろ)に起こる体の神経にそったずきずきとうずくような痛		
肛門裂傷	73.4						肛門	裂ける	肛門がさけること。		
肥胖症	4.3				●			肥満症。			
言葉のもつれ	87.3							舌がもつれて言葉がうまくなはなせないこと。			
坐骨神経痛	73.9	●	●	●	●		さまざま。ヘルニアが多い。	坐骨神経。背中・大腿から足。	起立・歩行が障害。耐えがたい疼痛	背中から太もも、足にそった神経が痛むこと。痛みは強く立ったり、座ったりするのむつら	
三叉神経痛	21.7	●	●	●	●	●	原因不明の特発性のものと脳底腫瘍・髄膜炎・副鼻腔炎・インフルエンザなどによる症候性のものがある	顔面	片側に針で刺すような強い痛み	顔面の主に片側におこる針で刺すような痛み。	
四十肩	89.9			●	●		40歳ごろ	原因がない	肩	慢性的に痛む	40歳ごろから起こり、肩の痛みや関節が固まって動きが悪くなること。
しぶり腹	20.8	●	●	●	●	●		赤痢などで見られる			便意はあるが排便はほとんどない状態。繰り返し起こるので便所から出られなくなる。